

# 町長の行政報告

本町を含む18市町村が選ばれ、本町の応援大使2名が11月26日の抽選会で決定されておりまます。報道等でご承知かと思いますが、改めて2名の選手をご紹介します。

一人目が背番号16、有原航平選手、26歳、広島県出身。

二人目が背番号54、玉井大翔選手、25歳、北海道佐呂間町出身。

二人とも投手であります。

来年度において、交流PR活動など様々な協力を頂けるものと期待しているところです。

局整備などにより、既にエリア化されたソフトバンクに加え、残るKDDIとNTTドコモにつきましても、本年度以降にエリア化される事を既にご報告していましたところですが、更なる関係機関の協力及び通信事業者の取り組みにより、NTTドコモは本年11月29日から、KDDIは12月8日に利用が可能となつております。これにより、通信事業3社のすべてがエリア化され、国道273号の本町内

バイオマス産業都市構想の選定について

国道273号線の携帯電話不感地帯解消の動き



日本ハムファイターズの2018「北海道179市町村応援大使」について

における不感地帯の解消が図られました。事故を契機に、本町と zwarして不感地帯解消の早期実現に向けた取り組みを進めてきたところですが、早期に問題解決が図られたことは、携帯電話各社の献身的な対応と関係機関の協力の賜物と感謝申し上げる次第です。

携帯電話各社の基地局整備などにより、既にエリア化されたソフトバンクに加え、残るKDDIとNTTドコモにつきましても、本年度以降にエリア化される事を既にご報告していましたところですが、更なる関係機関の協力及び通信事業者の取り組みにより、NTTドコモは本年11月29日から、KDDIは12月8日に利用が可能となつております。これにより、通信事業3社のすべてがエリア化され、国道273号の本町内

バイオマス産業都市構想の選定について

本町は将来像として「人いきいき・町わくわく童話村たきのうえく」を基本構想に掲げる「総合計画」に基づいて、その実現に向けて各種施策を展開しています。

昨年度、町内各関係機関で構成されています「滝上町バイオマス利活用推進協議会」を経て作成されました「滝上町バイオマス産業都市構想」について、国の

7府省の審査を受け、10月3日に認定され、同月19日に本町を含む全国で11市町村が、農林水産省内において副大臣による認定授与式が行われたところです。

本町におきましては、既に太陽光発電、小水力発電など再生可能エネルギーの導入がされているところですが、今後もより持続可能なエネルギーの活用を推進していくためにも、エネルギーの活用を進めながら、年内で豊富な森林資源活用を中心とした木質バイオマスの利活用を国・道による支援を受けながら図つてまいりたいと思います。

11月11日の全町に及ぶ停電事故について

当日の天候ですが、低気圧が急速に発達しながら北海道を通過する影響で日本海側を中心として道内は大荒れの天気となり、本町に心として道内は大荒れの天気となり、本町に協力をお願いするもの